

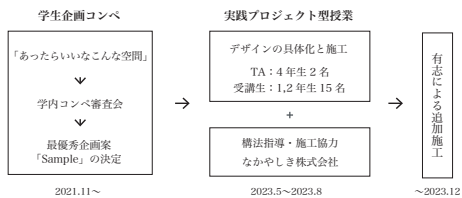


Project

このプロジェクトは西日本工業大学で学ぶ建築学生が、自らが使いたい空間を自ら考え、作ることを通じて、建築の楽しさを実感しつつ学びを深めることを目的としたものです。

プロジェクトの始まりは学生有志による自主企画コンペの発案でした。キャンパス内の未活用空間を対象に「あったらいいなと思える空間」の募集に対し本学学生から28の提案が集まりました。公開審査会を経て作品名「sample」が最優秀案として選出され、その実現にむけた取り組みが動き出しました。

デザインの具体化と施工は、実践プロジェクト型授業として行われ、学科教員の指導と地域の住宅メーカーの協力のもと、デザインの検討と図面化、材料の選定と発注、加工と組み立て、展示物のコーディネートまでを一貫して学生主体で行うことで、建築に関わる様々な仕事を体験することができました。



Planning

平面プランは、展示・勉強・くつろぎの3つのスペースがゆるやかにつながる構成となっています。展示スペースでは、学生同士で様々な役立ち情報を展示し共有することができます。勉強スペースでは授業の準備や復習などのちょっとした作業が行え、くつろぎスペースは休憩時間などの居場所となります。ガラス張りの壁面を通じて廊下からその全体が見渡せ、授業の合間にちょこっと寄りたくなる、そんな場所となることを目指しました。

